

令和7年度第1回坂井市国民健康保険事業運営協議会 会議録

1. 日 時 令和7年8月28日（木曜日） 午後2時～午後3時半

2. 場 所 坂井市役所多目的棟1階 交流ホール

3. 出席者 委員（13名中11名）

被保険者代表

新家委員 恩地委員 藤田委員 酒井委員

保険医等代表

越野委員 阿部委員 久保委員

公益代表

山田委員 小川委員 寺嶋委員 北村委員

欠席者 委員（13名中2名）

保険医等代表 藤井委員

被用者保険代表 神谷委員

事務局 池田市長 森瀬部長 細川課長 斉藤補佐 青木主任

4. 会議録署名人 山田会長 藤田委員

| 発言者 | 発言内容 |
|------|---|
| 事務局 | 1 開会（省略） |
| 市長 | 2 市長あいさつ（省略） |
| | 3 諮問（市長から会長へ諮問書を手交） |
| | 「坂井市国民健康保険税の税率等の改定について」 |
| 事務局 | 議事に入る前に、出席状況の確認をする。 |
| | 本日の出席委員は、13名中11名。よって、本日の会議への出席委員は定足数に達しているため成立。 |
| 会長 | 4 議事 |
| | 会長あいさつ（省略） |
| | 「議事」に移る。山田会長に議事をお願いする。 |
| | 本日の会議録署名人について、藤田委員を指名。 |
| 藤田委員 | 署名人について「承諾」 |

| | |
|------|---|
| 会長 | 議題（１）「令和６年度国民健康保険特別会計決算について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | （資料１の説明） |
| 会長 | 事務局からの説明について、質問などがあつたら伺う。 |
| | （質問なし） |
| 会長 | 議題（２）「令和７年度国民健康保険特別会計補正予算第１号について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | （資料２の説明） |
| 会長 | 事務局からの説明について、質問などがあつたら伺う。 |
| | （質問なし） |
| 会長 | 議題（３）「坂井市の国民健康保険事業の状況について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | （資料３の説明） |
| 会長 | 事務局からの説明について、質問などがあつたら伺う。 |
| 久保委員 | 一人当たりの医療費について、令和５・６年度福井県と坂井市の差が１万円程高くなっているのが気になるが、原因・要因の分析をしているか。 |
| 事務局 | 要因として、他市町国保と比較して高齢者の年齢構成比割合が高いことや、医療機関にかかりやすい環境であると考える。 |
| 久保委員 | 大野市や勝山市は高齢化率高く、坂井市は比較的そこまででないと思うがいかがか。 |
| 事務局 | ここでいう高齢化率は国民健康保険に限っているため、坂井市では若い世代については社会保険に加入している割合が多い。 |
| 越野委員 | 特定健診受診率について、暫定値で約３９％だが、他県と比べるといかがか。 |
| 事務局 | 福井県は全国でみると低い。 |
| 久保委員 | 特定健診を受診している方、通院をしている方は全体の何パーセントくらいか数字を出しているか。 |
| 事務局 | 令和５年度でいうと、健診のみ受診 ８％健診+医療受診 ２６．７％医療のみ受診 ４３．６％どちらも受診なし ２１．７％になる。 |
| 会長 | 議題（４）「坂井市の国民健康保険税の税率等の改定について」事務局から説明をお願いします。 |

| | |
|------|---|
| 事務局 | (資料4の説明) |
| 会長 | 事務局からの説明について、質問などがあつたら伺う。 |
| 久保委員 | 県内統一ということだが、それぞれの市町で蓄えていたお金を県で集めて均等にするという認識でよいか。 |
| 事務局 | 基金を持ち寄って統一するのではなく、その基金は各市町の保健事業で使用できることになる。県は保険税引き上げの抑制のためには使用できないと言っている。統一後に持っている基金は、独自の保健事業で使用する予定。 |
| 久保委員 | 県内統一後も事業は各市町で運営していくということか。 |
| 事務局 | 保健事業については各市町で実施していく。保険料は統一されるが、坂井市の一人当たり医療費が県平均より高い状況にあり、統一後他市町からご指摘を受けることのないよう、保健事業に精一杯取り組んでいく。 |
| 北村委員 | 国保税の収納関係については県で一本化になるのか、今までとおり市町で行うのか。 |
| 事務局 | 県が示すのは統一税率のみなので、収納は今までとおり市町で行う。 |
| 会長 | 5 その他 会議全般について、質問などがあつたら伺う。 |
| 恩地委員 | 令和12年度の統一を目指す県としてどういう具合に統一するか、県内集めて検討会を行っているか。毎年近づけていくのか、令和12年度に一気に統一するのか、方向性はもう出ているのか。 |
| 事務局 | 県国保運営方針連携会議で検討を行っている。進め方は市町に委ねられている。県で標準保険料率が示されているので、市町において急激に上がらないように令和12年度に向けて緩やかに上げていく。 |
| 恩地委員 | 令和12年度の目標値は決まっているのか。令和8年度の希望は？ |
| 事務局 | その時の加入者状況や医療費が高額になれば保険料も上がる。現行で示されている率と坂井市の率の開きを段階的に近づけていく。令和8年度については子ども・子育て支援金分が創設されるので、上がる見込み。医療分は引き下げ、支援分・介護分は引き上げるので全体としては上がる方向でいる。 |
| 恩地委員 | 福井市が高いように思うが高い福井市に合わせるのか、福井市が下げるのか、目標値は高い市町に合わせるのか。 |

| | |
|------|--|
| 事務局 | 資料はあくまでも参考で年齢・所得により単純計算したものになる。実際には各市町の年齢構成、所得状況等によって変わってくる。 |
| 酒井委員 | 子ども・子育て支援金の創設もあり令和12年度を目標に税率改定を3年かけて引き上げていくということは、改定は毎年行うということか。 |
| 事務局 | 子ども・子育て支援金について国は段階的に上げていくと言っている。坂井市でも税率を設定し、翌年度上げるか据え置くのかの審議をこの運営協議会で図っていきたい。 |
| 酒井委員 | お礼になりますが、特定健診の「いつの間にか予約」が時間も細かく設定されていてよかった。健診後の健康教室も「是非に」と声をかけられ参加したがとてもよかった。ありがとうございました。 |
| 小川委員 | 健診会場で外国人の方がたくさん受診していたが、保険料はきちんと納めているのか。納めてない人は受診できないのか。 |
| 事務局 | 外国人の方も同じように保険料を納めてもらう。会社で雇用されている方も多く、会社の方にも話をして未納がないような対策を行っている。納めていないから健診が受けられない、受診が出来ないということはない。 |
| 会長 | 以上で本日の議事を終了する。 |
| 事務局 | 今後のスケジュール説明。 |
| 森瀬部長 | 6 閉会 閉会のあいさつ（省略） |
| 事務局 | 以上で、令和7年度第1回坂井市国民健康保険事業運営協議会を終了する。 |

— 以上 —

運営協議会会長

山田香樹

会議録署名人（被保険者代表）

藤田裕子